

こども新聞  
週刊

毎週日曜発行

2026 2/15

河北新報社 TEL.022-211-1111(月曜から金曜)

## 宮城・丸森の譲渡型保護猫カフェ

ニュース

も  
教えて



さまざまな理由で保護された猫たちと  
大浦さん＝1月26日、宮城県丸森町

2月22日は「猫の日」だニャン。飼い猫も野良猫も、どんな猫も幸せに過ごせるといいよね。宮城県丸森町の譲渡型保護猫カフェ「まるもふ堂」は昨年11月、そんな願いをかなえるためにオープンした猫の居場所なんだよ。（8面に関連記事）

古民家を改装したカフェスペースには、20匹の猫がいます。猫が多すぎて飼い主に十分な世話をしてもらえなかったり、段ボール箱に入れて捨てられていたり、生い立ちはさまざまです。現在は保護している状態で、新しい飼い主が現れるのを待っています。



た。柵の上に座り、背筋を伸ばしてくつろぐ猫もいます。のんびり、ゆったり、自由気ままに。温かくのどかな時間が過ぎていました。

まるもふ堂 金、土、日曜と祝日の午後1～7時に営業。丸森町小斎北町場5。メールアドレス info@marumofu-nekosami.com

運営するのは、丸森町地域おこし協力隊の大浦友子さん（46）。約8年前、当時住んでいた宮城県塩釜市で子猫を拾ったのがきっかけで、ボランティアで他の猫も預かるなど、保護活動に参加するようになりました。身に染みて感じたのが、活動を継続する難しさです。病気予防のためのワクチン接種費用。不必要な繁殖を防ぐための手術代。新しい飼

## 古民家改装 20匹のんびり

い主が見つかるまでのえさ代。こうしたお金は、基本的に寄付が頼りでした。



「寄付だけでなく、自分たちで活動資金を生み出せる方がいい」。大浦さんは2023年秋、百貨店の仕事を辞め、地域おこし協力隊を募集していた丸森町に移住し、保護猫カフェの開業準備を進めてきました。

オープンから約3カ月の間、子どもから大人まで幅広い年代のお客さんが保護猫たちに会いに来てくれました。

大浦さんは「飼いたい猫がいる場合は、2週間のお試し期間を経て譲渡しています。猫カフェを利用してもらえるだけでも支援につながるので、猫と触れ合いに来てください」と話します。

まるもふ堂は現在、猫の引き取りはしていないんだ。相談したいことがあればメールしてね。

### この日 何の日

◇19日（木） チョコミントの日  
チョコの甘さとミントの爽やかさが人気のチョコミント。チョコミント愛好家が、チョコミント好きの特別な日にしようと2021年に制定。日付は米国の全米菓子協会が定めた「チョコミントの日」にちなみます。

### きょうの紙面

- 2面 やさしいにほんごニュース
- 3面 3分チャレンジ
- 4・5面 わが校わがまち スクール通信
- 6面 キホンがわかる こども英語
- 7面 投稿特集
- 8面 猫神さまに会える町

きょうのテーマ

みんなの将来

みんな動こう

みんな知りたい

みんな守ろう

みんなトモダチ